



当行は、環境省認定  
「エコ・ファースト企業」です。

「環境金融」で低炭素社会へ



当行は、気候変動キャンペーン  
「Fun to Share」に賛同しています。

# Change & Challenge



第129期

# 事業の ご報告

平成27年4月1日  
～  
平成28年3月31日



なるほど  
しがぎん

発行／平成28年6月

編集／滋賀銀行 総合企画部 広報室 電話／077(521)2202

<http://www.shigagin.com>

## SHIGA BANK

## ごあいさつ

皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。



当行の平成28年3月期の業況におきまして、当期純利益(単体)は147億円と2期連続で最高益を更新しました。また、預金残高は前期比418億円増の4兆4,301億円、貸出金残高は前期比2,070億円増の3兆2,675億円と、第5次長期経営計画に掲げる目標を大きく上回るとともに、その他の地域貢献目標と挑戦目標をあわせた8項目すべてを達成することができました。これもひとえに皆さまのご愛顧とご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。

なお、株主の皆さまのご支援にお応えするため、平成27年度の年間配当を平成26年度比2円増配の8円(普通配当7円、特別配当1円)にさせていただきました。

さて、日本社会は今、グローバル化の進展に伴う産業構造の変化に加え、少子高齢化による人口構造の変化や地域間格差の拡大、財政再建問題など数多くの社会的な課題を抱えています。特に、人口減少社会を克服して活力ある地域社会を再生する「地方創生」への取り組みは喫緊の課題であり、その実現こそが私たち地域金融機関の果たすべき責務である、と考えております。

このようななか、当行は平成28年4月より、長期的に目指すべき姿を未来創造銀行「The・ちぎん」、メインテーマを「チェンジ&チャレンジ」とする第6次中期経営計画をスタートさせました。「未来創造銀行」に向けて、引き続きCSR憲章(経営理念)に掲げる3つの共存共栄の実現に全力をあげてまいりますので、なお一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

平成28年6月

取締役頭取 **高橋 祥二郎**

## CSR憲章 [経営理念]

行是  
自分にきびしく  
人には親切  
社会につくす

私たちは、伝統ある近江商人の「三方よし(売り手よし、買い手よし、世間よし)」の精神を継承した行是「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」をCSR(企業の社会的責任)の原点とし、社会の一員として「共存共栄」を実現してまいります。

### 地域社会との 共存共栄

地域とともに歩む銀行として、お客さまの信頼と期待にお応えするため、「健全」と「進取」の精神を貫き、地域社会の発展に努めます。

### 役員員との 共存共栄

役員員一人ひとりの人権や個性を尊重し、働きがいのある職場づくりに努め、心身ともに「クリーンバンクしがぎん」の実現に努めます。

### 地球環境との 共存共栄

琵琶湖畔に本拠を置く企業の社会的使命として「環境経営」を実践し、地球環境を守り、持続可能な社会づくりに努めます。

## 滋賀銀行データ

名称	株式会社 滋賀銀行 THE SHIGA BANK, LTD.
本店所在地	滋賀県大津市浜町1番38号
設立	昭和8年10月1日
総資産	5兆16億円
預金残高	4兆4,301億円 (譲渡性預金含む)
貸出金残高	3兆2,675億円
資本金	330億円
従業員	2,199人
店舗数	137カ店(うち代理店16カ店) (平成28年3月31日現在)

## CONTENTS

■ ごあいさつ	1
■ トピックス①地方創生	3~4
■ 個人のお客さま	5~6
■ 法人のお客さま	7~8
■ 国際ネットワーク	9~10
■ CSRの取り組み	11~12
■ 財務データ	13~21
■ トピックス②TVCM	22
■ 連結財務諸表	23~24
■ 単体財務諸表	25~26
■ 株主の状況/株式のご案内	27~28
■ 役員一覧・グループ会社	29
■ トピックス③子育て支援	30

トピックス

# TOPICS ①

## 「地方創生」

### ファン拡大を目指し、地域の魅力を発信！ クラウドファンディング

ミュージックセキュリティーズ株式会社と提携し、クラウドファンディングの手法を通じて、地域ブランドの魅力向上や、地域資源を利用した新商品・サービスの提供に取り組む事業者のサポートを行っています。これまでに18件の小口ファンドを組成(平成28年3月末現在)し、事業のファン拡大を応援しています。

地域資源の  
さらなる  
魅力向上を目指して



「香の泉」ファンド(湖南市)



ふなずしファンド(大津市)



オーク樽熟成酒ファンド(京都市)

### アグリ産業の発展と地方創生に貢献 近江牛等を担保とする「ABL」を取扱開始

当行は、一般社団法人滋賀県畜産振興協会と提携し、近江牛等を担保とする「ABL※」の取り扱いを開始しました。不動産や保証によらない柔軟な資金対応や畜産事業者さまの「健全な畜産経営」のサポートを行い、地域ブランドの維持向上に努めてまいります。

#### ※ABL:Asset Based Lendingとは

企業の事業そのものに着目し、在庫や機械設備、売掛金など事業収益資産を担保として活用する融資手法のこと

### 深刻化する空き家問題の解決に向けて 目的型ローンに 「空き家の賃貸借にかかるリフォーム資金」を追加！

平成28年3月31日より、「しがぎん」目的型ローンのお使いみちに「空き家の賃貸借にかかるリフォーム資金」を追加しました。空き家問題の解決に向けて取り組む地方自治体等を金融面からサポートし、さらなる地方創生の深化に貢献してまいります。

採択  
事例

### 「地域経済イノベーションサイクル」 への取り組み

地域活性化に資する事業の立ち上げを行う民間事業者の初期投資費用に対し、総務省所管の「地域経済循環創造事業交付金」を活用し、当行の融資と合わせて、官民連携で創業を支援しています。

#### 彦根市(平成27年9月採択)

特定非営利活動法人ひこね文化デザインフォーラム様は、彦根市内の旧市街地で増加している空き家を活用し、インバウンドも対象とした宿屋に改装する計画をされました。当行はその計画に対し、地域経済循環創造事業交付金を提案し、見事採択されました。「ほんまちじゆく本町宿」と名付けられた建物は、江戸末期から明治にかけての町家を改装したもので、平成28年3月24日のグランドオープンより、古き良き時代のたたずまいを肌で感じられる宿屋として、多くの方々から注目されています。



# もっと「便利なしがぎん」を目指して 新たなサービスも続々登場！

心をこめてお出迎えます  
「Pepper(ペッパー)」が入行！

お客さまとの新しい接客・コミュニケーションの実施や、ロボット・AI(人工知能)を活用したより良いサービスの提供を目指し、近畿の地方銀行で初めて「Pepper\*」を採用しました。現在、本店営業部・草津支店・京都支店で皆さまをお出迎えています。見かけたら、是非声をかけてください。

※「Pepper」および「Pepper for Biz」はそれぞれアルデバラン社、ソフトバンクロボティクス社の登録商標です。

※本件は、ソフトバンクロボティクス社のPepper を活用し、当行が独自に実施しているものです。

近畿の  
地方銀行で  
初!!



来店不要でもっと便利に！  
目的型ローン、フリーローンの  
スマートフォン契約を開始



Sカードローン(サツキャッシング)に加え、平成27年12月14日より、消費者向け目的型ローン、フリーローンにおいても、スマートフォン契約を開始しました。ご来店いただかなくてもお手持ちのスマートフォンで契約手続きが完了するサービスで、お客さまの利便性が飛躍的に向上します。

近畿の  
地方銀行で  
初!!

お子さまの成長とともに  
ジュニアNISA(ニーサ)



「貯蓄から投資へ」のはたらきかけとして注目されている「NISA」に新たな制度が登場。1月より受付を開始し、4月からは実際に購入が可能となりました。是非お近くの本店にご相談ください。



お客さま満足度向上を目指して

滋賀県内外でのATMのご利用がさらに便利に

平成28年3月6日より、『しがぎん』キャッシュカードで県内5金融機関\*、京都中央信用金庫のATMをご利用いただいた場合、またはその金融機関のキャッシュカードで当行ATMをご利用いただいた場合、平日8:45～18:00のATMご利用手数料が無料となるサービスを開始しました。今後もより一層のサービス向上に努めてまいります。詳しくは当行ホームページをご覧ください。



※滋賀中央信用金庫、長浜信用金庫、湖東信用金庫、滋賀県民信用組合、滋賀県信用組合

ジュニアNISAってなに？

ジュニアNISA(ニーサ)は、平成28年1月よりスタートした「未成年者少額投資非課税制度」の愛称です。19歳までの未成年者が対象となり、投資信託などの運用益や分配金が一定額非課税になる制度です。



- ① 投資信託・株式等の譲渡所得・配当所得が5年間非課税
- ② 日本に住む0歳～19歳までの未成年者が対象
- ③ 平成28年から平成35年まで年間投資上限額は毎年80万円
- ④ 親権者等のうちどなたか一人が代理で代用
- ⑤ 18歳までは払い出しに制限



# 地域活性化に向けて 事業者の皆さまを細やかにサポートしてまいります

お客さまのニーズの高まりに合わせて  
三重支店オープン！

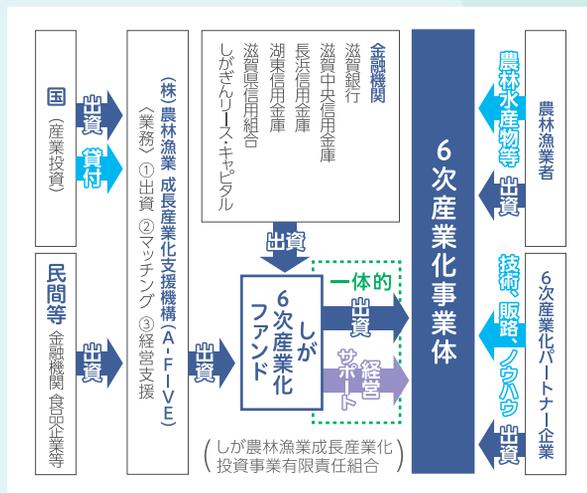


平成28年2月22日、三重法人営業部を支店昇格し、「三重支店」をオープンしました。今後三重県内でソリューション営業を展開し、事業者さま向けコンサルティングサービスを行ってまいります。

※三重支店は、事業性のお取引に特化した店舗です。一般窓口、ATM等は設置してありません。

地域資源の新たな付加価値創造をサポート！  
「しが6次産業化ファンド」

当行と県内信用金庫・信用組合で平成26年9月に設立した「しが農林漁業成長産業化投資事業有限責任組合」では、6次産業化に取り組むお取引先に対し、出資や経営の多角化に対する支援を通じて、新たな付加価値の創造をサポートしています。



企業のライフサイクルに応じた取り組み

## ■ ニュービジネスサポート

起業家の皆さまを応援するため、「サタデー起業塾」によるビジネスのヒントの提供や、しがぎんニュービジネス支援ネットワーク「野の花応援団」による産学官連携サポートなどを行っています。

### 【しがぎんビジネスフォーラム「サタデー起業塾」】

未来(あす)を担う次世代ビジネスの創造をテーマに、各分野で活躍されている経営者の講演や、専門家による各分野の最新動向の紹介などを行い、旺盛な起業家精神をサポートしています。

### 【しがぎん野の花賞】

「サタデー起業塾」受講者の中から、産学官連携で取り組まれたニュービジネスの顕著な取り組みを表彰。平成15年の創設以降、これまで88先に対し累計880万円を贈呈しています。

### 【創業サポートデスク】

地域の発展を担う创业者を総合的にサポートすることを目的に、営業統轄部内に「創業サポートデスク」を設置。地方創生の深化に向けて、支援体制を強化してまいります。

## ■ 事業承継・資産承継対策、M&Aの活用

中小企業診断士や1級ファイナンシャル・プランニング技能士等の資格を有する経験豊富な行員が、事業や資産の承継に関するご提案を行っています。

また、企業の経営戦略のひとつとしてM&Aが目立っています。外部専門機関との連携など、幅広いネットワークで、M&Aの活用による経営課題の解決をお手伝いします。

# アジアから世界へ ネットワークも広がって います

中堅・中小企業の海外事業展開を支援

## 国際協力銀行とクレジットライン設定の一般協定を締結

中堅・中小企業が開発途上地域で事業を展開する際の資金ニーズに対応するため、平成28年3月16日、株式会社国際協力銀行（JBIC）と「中堅・中小企業の海外事業展開支援に向けた投資クレジットライン設定（限度額：5,000万米ドル）のための一般協定」を締結しました。これからも、お取引先の海外事業展開をサポートしてまいります。



JBICとの協定締結の様子

インターネットで海外市場を開拓！

## 『しがぎん』アジアセミナーが盛況

平成28年3月18日に「第43回『しがぎん』アジアセミナー」を京都市内で開催。海外市場開拓のツールとして注目される「越境EC\*1」について、BtoB\*2向けビジネスを中心に展開するアリババ株式会社 国際事業部 三好敏広氏より「インターネットから始める海外市場開拓」についてご講演いただき、大盛況でした。

### ※1 越境ECとは

ECはElectronic Commerce（電子商取引）の略。越境ECは国際的な電子商取引のこと

### ※2 BtoBとは

Business-to-Business（企業間取引）

メキシコへの企業進出のサポートを強化！

## 国際協力銀行との業務協力のための覚書に参加

平成28年2月、メキシコ合衆国のアグアスカリエンテス州およびハリスコ州と株式会社国際協力銀行との間で締結された「日本の中堅・中小企業のアグアスカリエンテス州およびハリスコ州への進出支援を目的とした覚書」に参加しました。これにより、既に両州に進出されている、あるいは今後進出を計画されている当行お取引先への、進出サポートや現地の最新経済情報の提供等が可能となります。



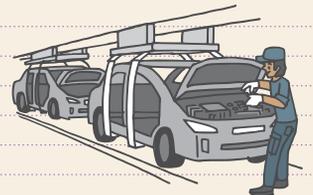
自動車産業が盛んな  
アグアスカリエンテス州

話題のスポットに注目！

## メキシコ合衆国の魅力について



メキシコ合衆国（以下、「メキシコ」）は、ラテンアメリカでブラジルに次ぐ経済規模を有しており、スペイン語圏では最大の国です。1994年に締結した米国、カナダとの北米自由貿易協定（NAFTA）をきっかけに、今や輸出の8割以上が米国向けと、米国経済とはとても強いつながりがあります。同国の主要産業は自動車産業。世界最大の自動車市場を有する米国と隣続きであるという地理的なメリットもあり、数多くの日系自動車メーカーが過去より進出してきました。近年さらに新工場の建設・稼働が相次いだことで、二次下請けの自動車部品メーカーや素材メーカーのメキシコ進出も増加しています。



# 「クリーンバンクしがぎん」を目指して 着実に歩みを進めてまいります



## 環境配慮型店舗

### 「米原支店」新築オープン!

平成28年3月7日、「米原支店」が新築オープンしました。新店舗は、町並みに配慮した平屋建てのコンパクトなデザイン。駐車場の拡充や昇降式カウンターを設置など、店舗機能の充実を図るとともに、太陽光発電やLED照明を採用するなど、「クリーンバンクしがぎん」として環境に配慮した店舗づくりを行いました。現在、環境配慮型店舗は21カ店(平成28年3月末時点)。今後もより一層の店舗機能の充実、お客さまの利便性向上に努めてまいります。



## 地域社会への貢献

### CSR私募債「つながり」が大好評

企業さまの私募債\*発行を記念して、発行金額の0.2%相当額を当行が拠出し、学校等に、図書やスポーツ用品など、「子どもたちの学びや成長を応援する物品」を寄贈しています。平成26年11月の取扱開始以来、これまで109件の私募債を発行いただき、87の小学校等に、合わせて1,630万円相当の寄贈品を贈呈しました。(平成28年3月末)



発行数  
**100**件超!

#### ※CSR私募債とは

財務内容等の厳しい適債基準を満たし、かつ当行独自の環境格付「PLB格付」にて一定水準の格付を得られた企業さまが発行される債券

## 地域に密着したCSR活動をご紹介します

各支店・各エリアで、「地域社会との共存共栄」「地球環境との共存共栄」の実現に向けた取り組みを行っています。

「生物多様性  
アクション大賞  
2015」で  
**「優秀賞」**  
受賞!

### 南笠支店

<「湖南企業いきもの応援団」に参加!>

「湖南企業いきもの応援団」に南笠支店が参加。地元企業、草津市、琵琶湖博物館が連携して、草津市の狼川おおかみがわの水質調査、いきもの調査、検証を継続的に実施しています。この中小企業のネットワーク活用と、行政・研究機関との連携による継続的調査の仕組みが高く評価され、平成27年12月11日、「生物多様性アクション大賞2015」(主催:国連生物多様性の10年日本委員会、環境省)で「優秀賞」を受賞しました。



### 東湖南エリア

<「四季桜植樹」に参加!>

平成28年2月21日に行われた「びわこ地球市民の森いきいきプロジェクト」の一つ、「四季桜」の植樹に、東湖南エリアの役職員22名が参加しました。「四季桜」は秋にも花を咲かせる珍しい桜で、地域の皆さまとともにこの度新たに14本を植樹。「びわこ地球市民の森」の四季桜はこれで88本となりました。



# お客さまと地域の成長の ために、 ともに歩んでまいります

## 個人・法人ともに順調に増加

### 預金等

当期も地域の皆さまからのご支持を受けて、期中平均残高は前期比1,015億円増加し、4兆3,799億円と順調に推移しています。コアとなる個人預金の期中平均残高は3兆2,746億円と同523億円の増加となりました。

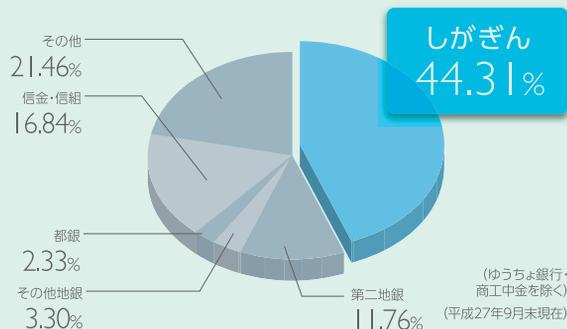
### 預金等(譲渡性預金含む) 期中平均残高

全体  
うち個人預金

単位:億円



### 預金残高「滋賀県内シェア」



## 事業性・消費者向け・地方公共団体向け貸出ともに増加

### 貸出金

当期は、事業性貸出・消費者向け貸出・地方公共団体向け貸出がそれぞれ増加し、期中平均残高は3兆1,242億円となりました。前期比1,742億円、5.90%の増加となりました。

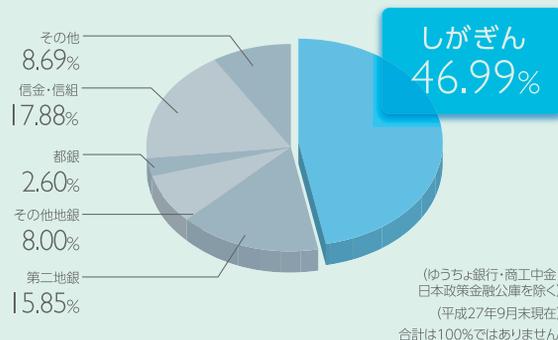
### 貸出金 期中平均残高

全体  
うち消費者向け貸出金

単位:億円



### 貸出金残高「滋賀県内シェア」



# 資産の運用も お任せください

## 多様な資産運用ニーズを親身にサポート

### 預り資産 残高

投資信託、公共債等の預り資産残高（取扱保険料累計額含まず）は、2,139億円で、前期末比194億円の減少、うち個人の預り資産残高は2,035億円で、前期末比187億円の減少となりました。期中販売額は投資信託が3億円減少の558億円、保険が81億円減少の366億円となりました。

### 預り資産残高 合計



### 投資信託・保険期中販売額



# 格付は安心の 「Aクラス」を確保

## 2つの格付機関が「A+」と高い評価

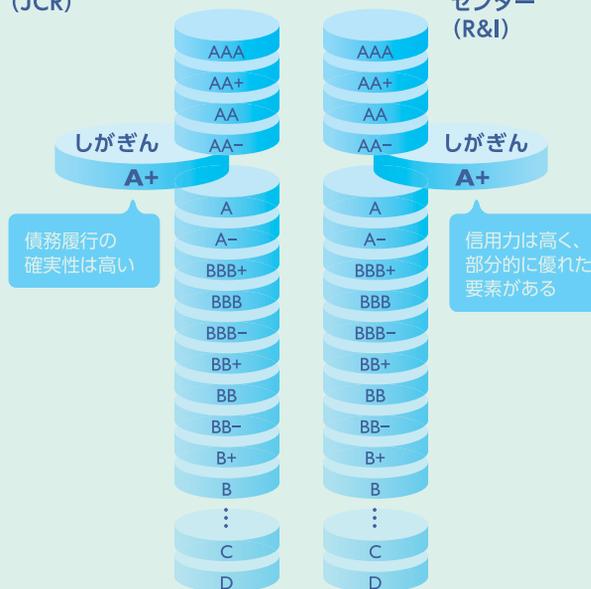
### 格付

「大切なお金は、安心できる銀行に預けたい」。格付はお客さまに安心して銀行をお選びいただくひとつの目安となる外部評価です。

当行は、2つの格付機関からともに「A+」を取得し、信用度について高い評価をいただいています

### 日本格付研究所 (JCR)

### 格付投資情報センター (R&I)



### 用語説明

#### 格付

銀行預金の元利金支払の確実性や安全性について、利害関係のない第三者が判断してその結果を簡潔な記号で表したものです。銀行を判断するうえで、安全性・信用度を客観的に評価した重要な指標のひとつです。

# これからも「安全」「健全」な経営に努めます

## 自己資本比率も国際統一基準を大きくクリア

### 自己資本比率 (連結)

自己資本比率は、銀行の安全性、健全性を測る指標のひとつです。当行のように海外に営業拠点を持つ銀行は、国際統一基準を満たしていなければなりません。当行の自己資本比率は16.45%（バーゼルⅢ基準、平成28年3月末、連結ベース）と国際統一基準を大きくクリアしています。

### 平成28年3月末

	実績	最低所要比率
連結 総自己資本比率	16.45%	8.0%以上
同 Tier1比率	13.34%	6.0%以上
同 普通株式等Tier1比率	13.28%	4.5%以上

※平成25年3月末より、バーゼルⅢ基準による自己資本比率を算出しております。

### (ご参考：自己資本比率推移)



### 用語説明

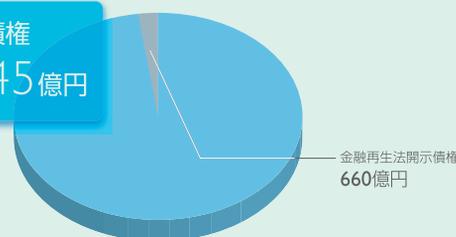
#### 自己資本比率

銀行の安全性、健全性を判断する基準のひとつに、自己資本比率があります。海外に支店を有する国際統一基準行では新たな自己資本比率規制（バーゼルⅢ）が平成25年3月期決算から段階的に導入され、各最低所要比率を満たす必要があります。

## 不良債権の状況

当行の金融再生法に基づく開示債権の合計は前期末比58億円減少し660億円、総与信に占める比率は1.99%で同0.33%の低下となりました。また、貸倒引当金や担保などによる保全率は74.81%で同0.83%の上昇となりました。

正常債権  
3兆2,445億円



## 金融再生法開示債権

単位：億円



### 用語説明

#### 不良債権比率

貸出金等の総与信残高に占める不良債権の割合です。不良債権比率が低いほど、資産の質は高くなります。銀行ごとにその資産総額の規模が異なることから、この比率が銀行の健全性をみる指標のひとつになります。

# お知らせします、しがぎん の業績

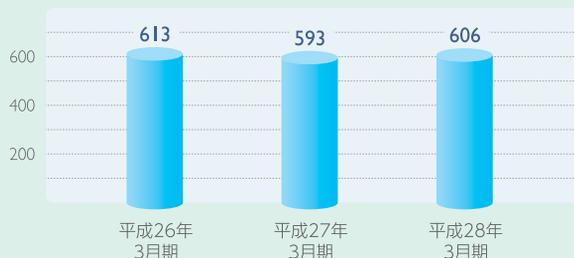
## 業績ハイライト

- 貸出金利回りの低下を主因として資金利益は前期比7億円減少しました。また、債券関係損益の増加を主因にその他業務利益は18億円増加し、業務粗利益は12億円の増益となりました。
- 経費は人員の減少や預金保険料の減少により全体で5億円の減少となり、実質業務純益は18億円の増益となりました。

### 業務粗利益

銀行本来の業務（貸出業務、為替業務、有価証券運用など）から得た利益です。

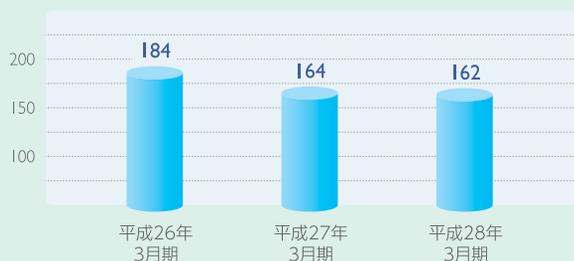
単位：億円



### 業務純益

一般企業でいう営業利益にあたります。  
業務純益＝業務粗利益－経費（人件費、物件費など）－一般貸倒引当金繰入額

単位：億円



- 当期は株式等関係損益が28億円と前期比26億円の増加となる一方で、与信コストは22億円となり、戻入益を計上した前期に比べ64億円の増加となったことから、経常利益は前期比13億円減益の208億円となりましたが、法人税等の負担額が減少したことより、当期純利益は22億円増益の147億円となり、過去最高益の計上となりました。

### 経常利益

業務純益から株式の売却損益や不良債権処理に関わる費用などをプラス・マイナスした利益です。

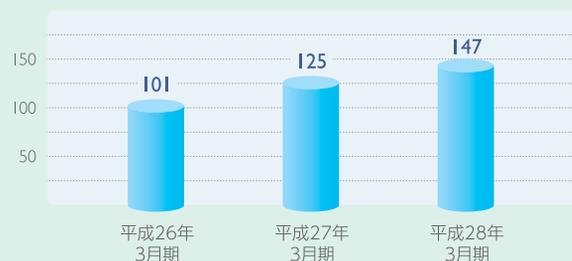
単位：億円



### 当期純利益

経常利益から法人税や事業税等を差し引いた最終的な利益です。

単位：億円



# お客さま・ 地域とともに未来へ歩む

当行は、お客さまと地域の持続可能な成長のために、当行独自の「3つのブランド戦略～知恵と親切の提供～」(「ネットワークのしがぎん」「アジアに強いしがぎん」「CSRのしがぎん」)の実践に具体的な数値目標を掲げて取り組み、地域社会とのさらなる共存共栄の実現を目指してまいりました。その結果、第5次長期経営計画で掲げた挑戦指標と地域貢献目標をすべて達成いたしました。

## 地域密着型金融の推進の目標および実績 (平成25年4月～平成28年3月)

取組項目	平成28年 3月末目標	平成28年 3月末実績	
第5次長期経営計画の挑戦指標			平成28年 3月末 進捗率 (%)
ROE (連結)	3.0 % 以上	4.52 %	
OHR (単体)	70 % 未満	69.97 %	
普通株式等Tier1比率 (連結) ※1	10.0 % 以上	13.28 %	
温室効果ガス排出量削減 ※2	20 % 削減	35.09 %	
「3つのブランド戦略～知恵と親切の提供～」に関する取り組み			
1. 「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み			
ビジネスマッチング商談件数 ★	3,000 件	4,111 件	137.0 %
ニュービジネスサポート: コーディネート活動件数	150 件	270 件	180.0 %
事業性融資先お取引先数	18,000 先	19,143 先	106.3 %
格付コミュニケーション・サービス実施先数 (累計) ★	3,200 先	3,496 先	109.2 %
経営改善計画策定支援先数 (累計) ※3	3,000 先	3,258 先	108.6 %
2. 「アジアに強いしがぎん」に関する取り組み			
海外ビジネスサポート件数 ※4 ★	4,300 件	6,010 件	139.7 %
海外商談会、セミナー、ミッションの実施回数	30 回	46 回	153.3 %
3. 「CSRのしがぎん」に関する取り組み			
PLB資金、エコ・クリーン資金実行件数 ※5	600 件	643 件	107.1 %
エコプラス定期取扱件数、 ネット投信電子交付サービス契約件数 (合計)	500,000 件	430,056 件	86.0 %
ボランティア活動参加延べ人数 ★	7,500 名	7,739 名	103.1 %

★印は第5次長期経営計画の地域貢献目標として掲げている項目です。  
 ※1 普通株式等Tier1比率 (連結) …パーゼルⅢベースの数値を記載しております。  
 ※2 温室効果ガス排出量削減 …2013年度から2015年度の3年間平均で2006年度比較20%削減。  
 ※3 経営改善計画には、当行所定の「ご相談シート」による簡易な計画も含まれます。  
 ※4 国際部アジアデスクおよび当行の海外拠点 (香港支店、上海駐在員事務所、バンコク駐在員事務所) によるサポート。  
 ※5 PLB資金…「しがぎん」琵琶湖原則 (Principles for Lake Biwa) 支援資金。

# TOPICS ② 「TVCM」

## 滋賀銀行の新CMのテーマは 「近江商人スピリット」～「チェンジ&チャレンジ」篇～

平成28年4月よりスタートした「第6次中期経営計画」のメインテーマは「チェンジ&チャレンジ」。新CMには、近江商人の「三方よし」の精神 (スピリット) を原点に、地域・お客さまに新たな価値を創造するため、積極果敢に変革に挑戦していく、との思いを込めています。7月から、びわ湖放送や当行ホームページ\*でオンエアします。ぜひご覧ください。



「三方よし」  
それは、近江商人が  
目指した商売の理想。



そんな近江商人の  
精神を引き継ぎ



滋賀銀行は、  
お客さまに新たな  
価値を提案し、  
地域社会の未来を  
創造していきます。



チェンジ&チャレンジ!



滋賀銀行

※当行HP「TVCMギャラリー」  
<http://www.shigagin.com/csr/cm/index.html>

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(平成28年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	187,959	預 金	4,331,151
コールローン及び買入手形	642	譲渡性預金	84,722
買入金銭債権	5,769	コールマネー及び売渡手形	51,284
商品有価証券	201	債券貸借取引受入担保金	26,937
金銭の信託	8,724	借 用 金	50,509
有価証券	1,428,917	外 国 為 替	54
貸 出 金	3,257,723	新株予約権付社債	22,536
外 国 為 替	8,778	そ の 他 負 債	37,143
そ の 他 資 産	70,381	退職給付に係る負債	13,417
有形固定資産	58,626	役員退職慰労引当金	12
建 物	15,221	睡眠預金払戻損失引当金	911
土 地	38,611	利息返還損失引当金	73
建設仮勘定	1,310	偶発損失引当金	217
その他の有形固定資産	3,482	繰延税金負債	26,539
無形固定資産	3,479	再評価に係る繰延税金負債	7,337
ソフトウェア	3,308	支 払 承 諾	25,862
その他の無形固定資産	170	負債の部合計	4,678,711
繰延税金資産	697	(純資産の部)	
支払承諾見返	25,862	資 本 金	33,076
貸倒引当金	△ 32,339	資 本 剰 余 金	23,966
		利 益 剰 余 金	172,152
		自 己 株 式	△ 3,490
		株 主 資 本 合 計	225,705
		その他有価証券評価差額金	106,243
		繰延ヘッジ損益	△ 1,660
		土地再評価差額金	11,798
		退職給付に係る調整累計額	△ 820
		その他の包括利益累計額合計	115,560
		新 株 予 約 権	98
		非支配株主持分	5,350
		純資産の部合計	346,714
資産の部合計	5,025,426	負債及び純資産の部合計	5,025,426

## 連結損益計算書(要約)

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位:百万円)

科目	金額	金額
経 常 収 益		95,844
資金運用収益	52,930	
(うち貸出金利息)	(39,810)	
(うち有価証券利息配当金)	(12,805)	
役務取引等収益	13,992	
その他業務収益	23,957	
その他経常収益	4,963	
経 常 費 用		73,309
資金調達費用	3,482	
(うち預金利息)	(2,120)	
役務取引等費用	4,430	
その他業務費用	18,182	
営業経費用	43,605	
その他経常費用	3,608	
経 常 利 益		22,535
特 別 利 益		96
固定資産処分益	96	
特 別 損 失		311
固定資産処分損失	100	
減 損 損 失	210	
税金等調整前当期純利益		22,319
法人税、住民税及び事業税	6,357	
法人税等調整額	103	
法人税等合計		6,461
当期純利益		15,858
非支配株主に帰属する当期純利益		349
親会社株主に帰属する当期純利益		15,508

# 単体財務諸表

## 第129期末 貸借対照表(要約)

(平成28年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
現金預け金	187,888	預 金	4,335,333
コールローン	642	譲渡性預金	94,822
買入金銭債権	5,769	コールマネー	51,284
商品有価証券	201	債券貸借取引受入担保金	26,937
金銭の信託	8,724	借 用 金	39,576
有価証券	1,427,505	外 国 為 替	54
貸 出 金	3,267,507	新株予約権付社債	22,536
外 国 為 替	8,778	そ の 他 負 債	22,890
そ の 他 資 産	37,600	退職給付引当金	12,141
有形固定資産	58,283	睡眠預金払戻損失引当金	911
無形固定資産	3,344	偶発損失引当金	217
支払承諾見返	25,862	繰延税金負債	26,801
貸倒引当金	△ 30,493	再評価に係る繰延税金負債	7,337
		支 払 承 諾	25,862
		負債の部合計	4,666,708
		<b>(純資産の部)</b>	
		資 本 金	33,076
		資 本 剰 余 金	23,945
		資 本 準 備 金	23,942
		その他資本剰余金	3
		利 益 剰 余 金	165,056
		利 益 準 備 金	9,134
		その他利益剰余金	155,922
		固定資産圧縮積立金	400
		固定資産圧縮特別勘定積立金	220
		別 途 積 立 金	139,493
		繰越利益剰余金	15,807
		自 己 株 式	△ 3,490
		株 主 資 本 合 計	218,589
		その他有価証券評価差額金	106,082
		繰延ヘッジ損益	△ 1,660
		土地再評価差額金	11,798
		評価・換算差額等合計	116,219
		新 株 予 約 権	98
		純資産の部合計	334,907
資産の部合計	5,001,616	負債及び純資産の部合計	5,001,616

## 第129期 損益計算書(要約)

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位:百万円)

科目	金額	金額
経 常 収 益		79,082
資 金 運 用 収 益	52,891	
(うち貸出金利息)	(39,800)	
(うち有価証券利息配当金)	(12,783)	
役 務 取 引 等 収 益	11,715	
そ の 他 業 務 収 益	9,514	
そ の 他 経 常 収 益	4,960	
経 常 費 用		58,193
資 金 調 達 費 用	3,413	
(うち預金利息)	(2,123)	
役 務 取 引 等 費 用	4,923	
そ の 他 業 務 費 用	5,136	
営 業 経 費	41,793	
そ の 他 経 常 費 用	2,926	
経 常 利 益		20,889
特 別 利 益		96
特 別 損 失		311
固 定 資 産 処 分 益	96	
固 定 資 産 処 分 損	100	
減 損 損 失	210	
税 引 前 当 期 純 利 益		20,673
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	5,712	
法 人 税 等 調 整 額	166	
法 人 税 等 合 計		5,878
当 期 純 利 益		14,794

# 株式の状況をお知らせします

## 株式の状況 (平成28年3月31日現在)

発行済株式総数 265,450千株

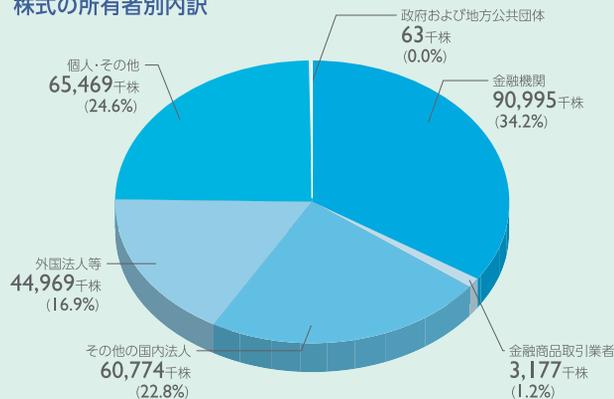
株主数 12,022人

### 大株主

株主名	持株数	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	13,154千株	4.95%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	9,523千株	3.58%
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	9,518千株	3.58%
日本生命保険相互会社	8,054千株	3.03%
明治安田生命保険相互会社	7,999千株	3.01%
滋賀銀行従業員持株会	6,692千株	2.52%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	5,807千株	2.18%
株式会社みずほ銀行	5,600千株	2.10%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	5,020千株	1.89%
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,368千株	1.64%
計	75,737千株	28.53%

※当行は自己株式5,137千株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合は1.93%)を所有しておりますが、上記大株主には記載しておりません。

## 株式の所有者別内訳



## 株式のご案内

### 事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

### 定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

### 基準日

定時株主総会の議決権 3月31日

期末配当 3月31日

中間配当 9月30日

※その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日

### 公告方法

電子公告により当行ホームページ(<http://www.shigagin.com>)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

### 単元株式数

1,000株

### 株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

### 郵便物送付先／各種お問合せ先

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

●各種事務に関するご照会 電話0120-094-777(通話料無料)

(受付時間 9:00~17:00(土、日、祝日、12月31日~1月3日を除く))

●ホームページアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

三菱UFJ信託銀行の本支店でもお取り次ぎいたします。

### 株式に関する各種手続き

「届出住所・姓名などの変更」、「配当金の振込先の指定または変更」、「単元未満株式の買取・買増請求」などにつきましては、口座を開設されている証券会社(証券会社に口座開設されていない株主さまは、上記の三菱UFJ信託銀行)へお申し出ください。

未受領配当金(ゆうちょ銀行の払渡期間経過後)のお支払いにつきましては、上記の三菱UFJ信託銀行までお申し出ください。

## 役員一覧

取締役会長	大道良夫	取締役	北川正義
取締役頭取	高橋祥二郎	※1取締役(非常勤)	引馬 滋
専務取締役	奥 博	※1取締役(非常勤)	辻田素子
専務取締役	今井悦夫	監査役(常勤)	西澤由紀夫
常務取締役	林 一義	監査役(常勤)	長谷川雅人
常務取締役	大野恭永	※2監査役(非常勤)	西川 聡
常務取締役	若林岩男	※2監査役(非常勤)	安井 肇
常務取締役	西 基宏	執行役員	小西哲也
取締役	森本 勝	執行役員	中島浩之
取締役	小八木一男	執行役員	竹村雅人
取締役	西藤崇浩	執行役員	青木和夫

※1は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
 ※2は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

## 連結子会社 (平成28年3月31日現在)

会社名	主な事業内容
しがぎんビジネスサービス株式会社	事務代行業務、不動産管理業務
しがぎん代理店株式会社	銀行代理店業務
しがぎんキャッシュサービス株式会社	現金精査・整理、ATM管理業務
滋賀保証サービス株式会社	信用保証業務、貸出担保評価・管理業務
しがぎんコンピュータサービス株式会社	事務計算受託業務
株式会社しがぎん経済文化センター	コンサルティング業務
株式会社滋賀ディーシーカード	クレジットカード業務、信用保証業務
しがぎんリース・キャピタル株式会社	リース・投資業務
株式会社しがぎんジェーシービー	クレジットカード業務

# TOPICS ③

## 「子育て支援」

当行は、育児休業や短時間勤務など、役職員の誰もが利用できる子育て支援制度を設けており、その制度を利用しやすい職場環境の構築に取り組んでいます。

総勢239名!

### ◎「イクボス宣言」を実施

平成28年4月5日、総勢239名で「イクボス宣言」を実施しました。職員が仕事と家庭を両立させ、生き生きと活躍できる職場環境づくりを推し進めるため、多様化する時代に対応した新しい上司「イクボス」の育成を目指しています。

近畿の  
地方銀行で  
初!!



### イクボスとは?

「職場でともに働く部下の仕事と生活との調和を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を充実させている上司(経営者・管理職)」のこと。

### ◎「プラチナくるみん」認定!

「次世代育成支援対策推進法」に基づき、仕事と子育ての両立支援に積極的な取り組みをしている「子育てサポート企業」の中で、より高

滋賀県で  
初!!

い水準の取り組みを行った企業として、滋賀県で初めて厚生労働大臣より「プラチナくるみん」の認定を受けました。これからも子育て支援を推進してまいります。

